

## 特集 1

カーボンニュートラル実現に向けた  
常用分野の取り組み

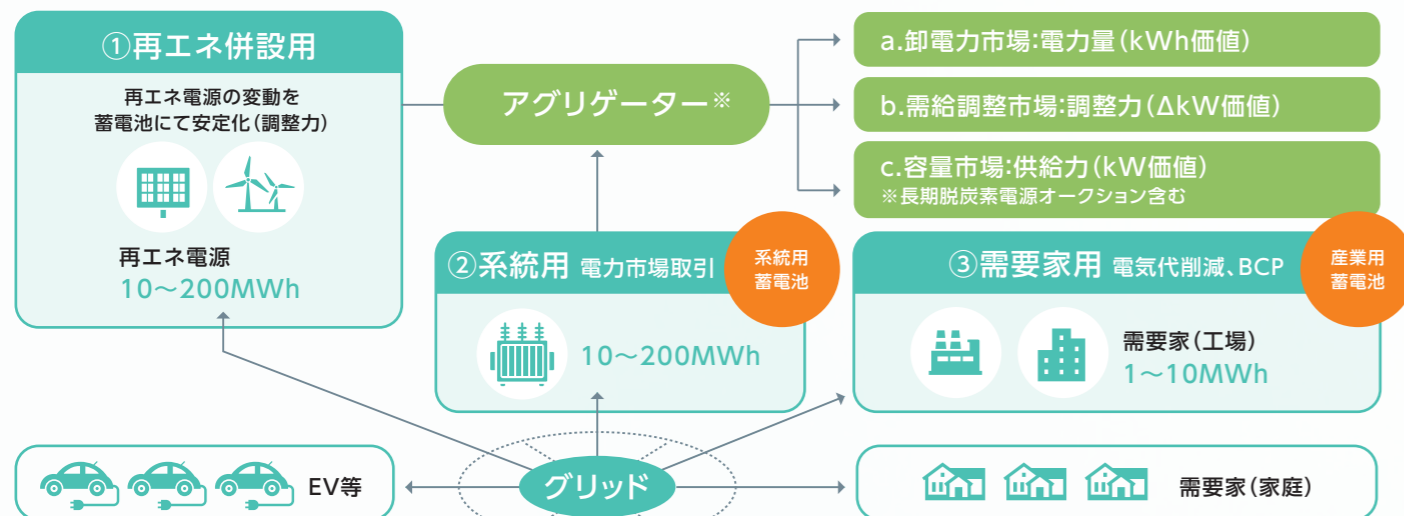
地球規模での環境課題解決に向け、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが加速しています。なかでも再生可能エネルギーの活用は、カーボンニュートラル実現に不可欠な要素であり、近年では、再生可能エネルギー導入拡大に伴う電力供給の安定化が非常に重視されています。こうした背景のもと、常用分野における需要は急速に高まっており、国からの補助金など政策的支援も追い風となっています。

当社としても、この流れを機会と捉え、産業電池電源事業の常用分野を成長ドライバーの一つと位置付けて積極的に事業を推進しています。本特集では、当社の常用分野の取り組みについてご紹介します。

## 常用分野とは

常用分野とは、再生可能エネルギーやエネルギーマネジメントなどにおいて、常時の充放電に使用される用途のことです。現在は、風力・太陽光発電といった再生可能エネルギーにおいて、当社の蓄電池製品がキーデバイスとして需給バランス調整の役割を担っています。さらに、送配電を担う変電所や、大規模工場、ビル、住宅、鉄道など、電力を使用する多様な施設や移動手段からの需要が拡大しており、当社の貢献分野も一層広がりを見せています。

常用分野における蓄電池の主な活用方法として、①再エネ併設用、②系統用、③需要家用の3つがあります。



(注) 経済産業省 蓄電池産業戦略検討官民協議会「蓄電池産業戦略」をもとに作成  
※需要家の需要量を制御して電力の需要と供給を保つため、電力会社と需要家との間でバランスをコントロールする事業者のこと。

## 市場環境

需要拡大とお客様からの高い信頼を基盤に、当社への需要が拡大しており、生産能力を超える引き合いが年々増加傾向にあります。そのため、需要に応えるための供給能力の増強が課題です。さらなる製品やサービス力の向上を図るとともに、生産能力拡大にも取り組み、将来的には海外における生産拠点の構築や各地域における教育計画も含めた海外展開も検討しています。第七次中期経営計画期間には、より具体的な方向性を明らかにしていく方針です。

## 政府の再生可能エネルギー関連の予算(一部)

内容等	時期	支援額等
系統用蓄電池補助金	2026年まで	400億円/1.3GWh
	2027年まで	400億円/1.3GWh
東京都系統用蓄電池補助金	2030年まで	130億円/0.6GWh
再エネ電源併設型蓄電池支援	継続予定(期間未定)	160億円/0.5GWh

(注) 支援額は国庫債務負担を含む3年間の総額

## GSユアサの強み

当社はお客様のさまざまなニーズに対して、QCDS(Q:クオリティ、C:コスト、D:デリバリー、S:サービス)すべての観点において、高水準でお応えしており、この対応力こそが当社の強みです。

高品質

納入後の  
アフター  
サービスコスト  
パフォーマンス

## 製品性能に対する徹底したこだわり

- 安全性(高水準の製造品質の維持・向上および安全設計)
- 約20年の運用に耐えうる長寿命体制
- 高効率な充放電性能

## ハイコストパフォーマンス

- お客様のニーズを汲み取り、低コストと品質の両立

## 厳格な工程管理とバックアップ体制

- タイムな工程計画も遂行し、不測の事態にも対応するバックアッププランを策定
- 不具合発生時も最短で解決策を明示し、常に生産し続けられる体制を構築

## アフターサービスとお客様との信頼関係

- 遠隔監視システムにて安心感を提供
- ネットワークとフットワークで全国各地に拠点をもち、24時間365日駆けつけられるサービス体制

## QCDS向上への取り組み

さらなるQCDSの向上に向けて、電池生産部門であるリチウムイオン電池事業部が主導で生産改善に取り組んでいます。

## 1

2024年度に生産ライン改造による生産能力増強を図り、セル組み立て能力が1ライン当たり30%向上

## 2

リチウムイオン電池事業部・産業電池電源事業部の部門内での生産実績・納期に関するの緊密な情報共有をもとに、臨機応変な生産対応を継続

## 3

工程・歩留まり改善のための活動を部門横断で実施し、2024年度は極板製造工程の製造条件を変更し、品質向上を実現



## 主な受注・納入実績

北豊富変電所  
(北海道天塩郡豊富町)

事業者	北海道北部風力送電(株)
稼働時期	2023年3月～
出力	240MW
容量	720MWh

蓄電池設備全景  
提供元:千代田化工建設(株)

## 田川蓄電所(福岡県田川郡香春町)

事業者	NTTアノードエナジー(株)・九州電力(株)・三菱商事(株)
稼働時期	2023年7月～
出力	1.4MW
容量	4.2MWh



設置イメージ

ENEOS(株) 室蘭事業所  
(北海道室蘭市)

事業者	ENEOS(株)
稼働時期	2023年度
出力	50MW
容量	88MWh



ENEOS(株) 室蘭事業所

大阪国際石油精製(株) 千葉製油所  
(千葉県市原市)

事業者	ENEOS(株)
稼働時期	2025年度
出力	100MW
容量	202MWh



大阪国際石油精製(株)千葉製油所

本田技研工業(株) 熊本製作所  
(熊本県菊池郡大津町)

事業者	本田技研工業(株)
稼働時期	2024年4月～
出力	2.6MW
容量	20MWh

本田技研工業(株) 細江船外機工場  
(静岡県浜松市)

事業者	本田技研工業(株)
稼働時期	2025年4月～
容量	2MWh



## 大阪ガス 新型パワーコンディショナ併設型蓄電池設備(大阪市此花区)

実証実験締結先	大阪ガス(株)
実証運用期間	2025年4月～2028年3月(予定)
機器	パワーコンディショナ:500kW リチウムイオン電池:840kWh
検証内容	複数の電力市場に対応したマルチユース運用の検証・蓄電池の特性に合わせた最適運用制御パターンおよび蓄電池設備の動作検証

役割分担	【大阪ガス】 ・蓄電池設備の運用に必要な設備の構築と敷地の提供 ・電力市場での取引を模擬した、蓄電池設備の運用管理 【GSユアサ】 ・蓄電池設備の提供および運転・保守管理(O&M)対応の実施 ・データに基づく機器の改造・改善の実施および検討
------	---

(株)ニジオ 角子原パワーストレージステーション  
(大分県大分市)

事業者	(株)ニジオ
稼働時期	2026年度(予定)
出力	25MW
容量	50MWh

完成イメージ  
作成:千代田化工建設(株)  
(GoogleMapおよび国土  
地理院の地図データを使用)ユーラス白鳥バッテリーパーク  
(福岡県田川市)

事業者	(株)ユーラスエナジー ホールディングス
設置場所	福岡県田川市
運用開始時期	2024年1月～
容量	4.58MWh



リチウムイオン蓄電池設備外観

弥藤吾(やとうご)蓄電所  
(埼玉県熊谷市)

事業者	坂東蓄電所1号合同会社
稼働時期	2025年2月～
出力	1.96MW
容量	7.46MWh



弥藤吾蓄電所イメージ図

葦塚(いらづか)蓄電所  
(群馬県伊勢崎市)

事業者	坂東蓄電所1号合同会社
稼働時期	2025年6月～
出力	1.96MW
容量	7.46MWh



葦塚蓄電所イメージ図